

図書委員おススメの本

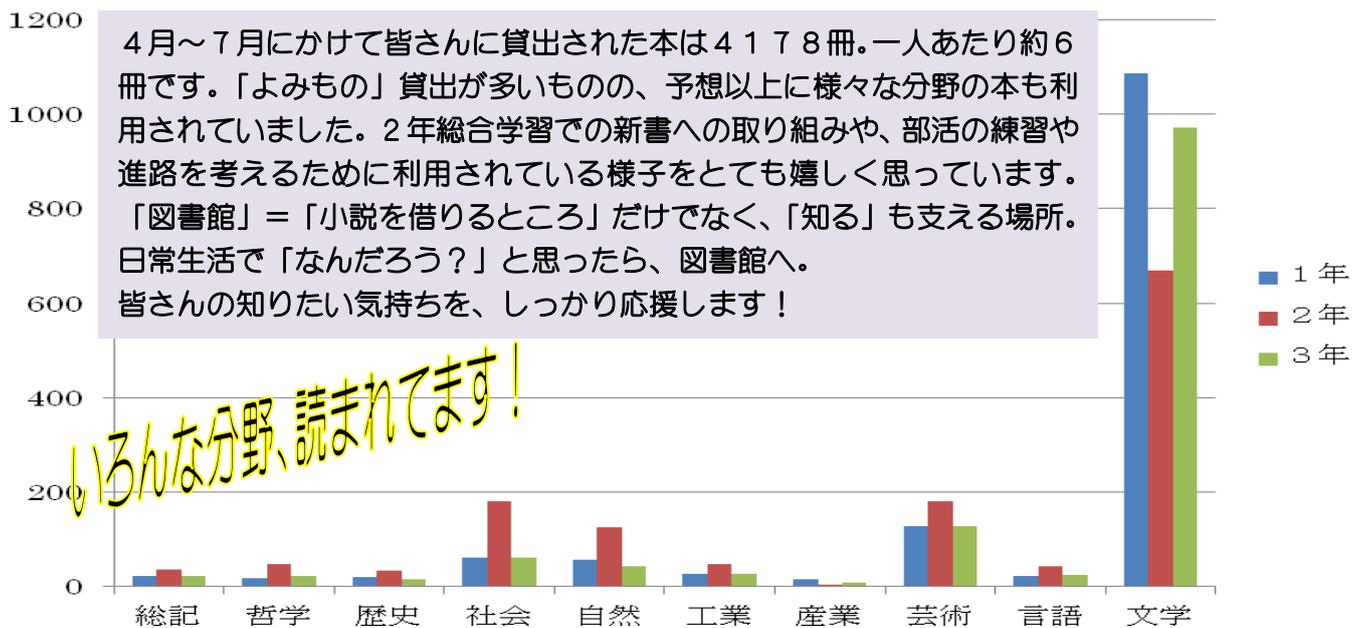
図書委員が紹介した本は、専用コーナーで展示しています！手にとってみて！

『巷説百物語』 京極夏彦 角川文庫

怪異譚を蒐集するために諸国をめぐる青年・山岡百介。山小屋で会った御行姿の男、垢抜けた女、初老の商人と顔色の悪い僧——。彼らと一夜を江戸で流行の百物語で明かすことに。間に葬られる事件の決着を金で請け負う御行一味の裏世界に足を踏み入れる百介。小豆洗い、舞首、柳女、帷子辻——。彼らが操るあやかしの姿は、人間の深き業への裁きか、甲いか。
一話完結で読みやすい妖怪時代小説、第一弾。

『キケン』 有川浩 新潮社

成南電気工科学科にある「機会制御研究部」なるサークル。ここはその活動における様々な伝説や破壊的行為から「キケン」と称されていた。これはその黄金時代の物語。「全力無意味、全力無謀、全力本気で遊ぶ理系男子！（帯より）」
理系大学生生活に興味がある方は、ぜひ読んでみてください。



こぼれ囁

- ・“のれん”を見て。「氷、下さい」「いえ、“本”です。よく見よ」「だまされた～、ラムネは？」…あるわけない。
- ・「考えてる～ 買いたくなる～」…上巻と下巻の表紙をあわせると一枚の絵になるシリーズ。出版社さんの思惑通り。
- ・「私は悪くない！面白い本がある図書館が悪い！」…すみませんねえ。現実逃避したいキモチはわかりますが。
- ・待ち合わせに使われる図書館。Aさん「行こうぜ！」 Bさん「行こう行こう！」…ちなみにAさんは女子。Bさんは男子。えっ、聞き違いましたか、私！？

楽しみに読みますね！

1、2年生の課題「読書体験記」。提出前夜はツイッターで嘆く人も続出だったとか…。長い文章を書く経験はきつとどこかで役に立ちますよ。
全ての作品は担任・副担任の先生が読まれた後に図書館でも読ませてもらいますね。また、童話や小論文に応募する人も増えてきました。
今しかできない知的チャレンジ、応援してます！

